

岩手県立大学 令和2年度

卒業年次生アンケート

調査結果報告書（抜粋）

令和3（2021）年3月

目次

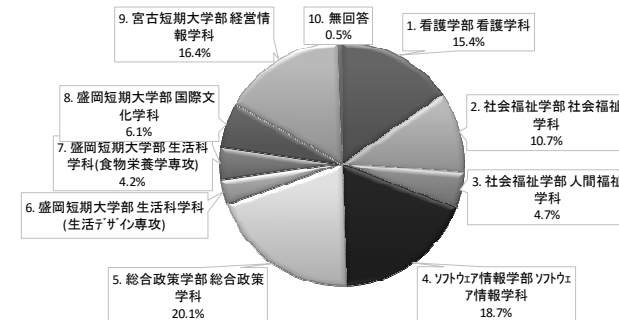
- 1. 調査の概要 1
- 2. 調査結果の要約 2



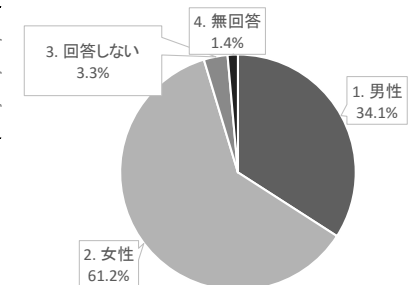
1. 調査の概要

- ①実施時期： 令和3年1月～令和3年2月
- ②実施方法： Webアンケート
- ③対象者： 岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部
令和2年度卒業年次生（707名）
- ④回答者： 214件（回収率：30.3%）
- ⑤回答者内訳：

1. 学部・学科	人	%
1. 看護学部 看護学科	33	(15.4)
2. 社会福祉学部 社会福祉学科	23	(10.7)
3. 社会福祉学部 人間福祉学科	10	(4.7)
4. ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科	40	(18.7)
5. 総合政策学部 総合政策学科	43	(20.1)
6. 盛岡短期大学部 生活科学科(生活デザイン専攻)	7	(3.3)
7. 盛岡短期大学部 生活科学科(食物栄養学専攻)	9	(4.2)
8. 盛岡短期大学部 国際文化学科	13	(6.1)
9. 宮古短期大学部 経営情報学科	35	(16.4)
10. 無回答	1	(0.5)
合計	214	(100.0)



2. 性別	人	%
1. 男性	73	(34.1)
2. 女性	131	(61.2)
3. 回答しない	7	(3.3)
4. 無回答	3	(1.4)
合計	214	(100.0)



2. 調査結果の要約

○学生生活について

- 3. 全体として住居の状況は自宅 43.0%、アパート 44.9%となっている。自宅の割合が相対的に高いのは総合政策学部 65.1%、盛岡短期大学部国際文化学科 61.5%である。
- 4. 出身地は岩手県内が 65.0%、東北 6 県の出身者が全体の 92.5%を占めている。
- 問11. 学内のサークル活動に参加していた割合は全体の 69.6%。所属別では、社会福祉学部社会福祉学科の参加率が 91.3%と最も高く、次いで社会福祉学部人間福祉学科 90.0%となっている。
- 問12. ボランティア活動に参加したことのある学生が全体の 33.2%、学外のクラブ・サークル活動 11.7%、地域創造プログラム 7.0%、町内会などの活動 5.1%、国際交流活動 4.2%、となった。これらの活動に参加しなかった割合は 45.3%であった。
- 問13. 入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことのある学生の割合は全体の 12.1%(100-「被害にあったことがない」-「無回答」)。
- 問14. 悩みや不安があるとき、誰に相談しましたかという設問に対して、全体として最も多いのが「先輩・友人」83.2%、次いで「家族」65.9%、「教員」25.2%となっている。
- 問15. 1ヶ月の平均収入額は全体として総額 71,577 円、自宅生は 57,235 円、自宅生以外は 98,667 円であった。
- 問15-2. 在学中、定期、不定期を問わず何らかの形態でアルバイトを行っていた学生は全体の 85.0%(100-「しなかった」-「無回答」)、その内「定期的に毎月」アルバイトを行っていた学生は全体の 44.9%である。
- 問16. 在学中の学生生活全般の充実度は全体の 89.7%が肯定的回答(「とても充実していた」「やや充実していた」の合計)となっている。

○教育全般について

- 問1. 自ら設定した学習目標を「達成できた」「ほぼ達成できた」という肯定的回答は全体の 94.4%で全体としての肯定割合はこれまでの調査で最も高くなっている。
- 問3. 平日 1 時間以上自学・自習した学生は全体で 61.2%、休日は 59.8%となっている。
- 問4. 外国語を習得するため、正課の授業以外で何らかの取り組みをした学生の割合は、全体の 19.6%。取り組みの内容としては、「検定試験(英検など)に挑戦した」10.7%、「通信教育や教材で自学した」7.0%等となっている。

- 問5. 在学中に海外渡航の経験を有する学生は全体の 13.6%、過去 4 年概ね 18%~23%であったがコロナ下での影響も及んでいることが推察される。
- 問9. インターンシップ(単位認定の有無は問わない。資格要件の実習は除く。)を体験した学生の割合は、全体の 57.5%。インターンシップ・体験学習を体験した学生のうち、「とても有意義であった」「有意義であった」と考える割合は全体の 87.8%。

○図書館について

- 問17. 図書館の利用頻度は割合の高い順に「年に数回」25.7%、「月に 1~2 日」24.8%、「週に 1~2 日」17.8%、「試験期間だけ利用」10.7%、「ほとんど利用しない」9.3%となっている。全体として「月に 1~2 日以上利用」する学生は、50.5%である。
- 図書館の利用目的は「学習場所として(自学自習)」77.2%、「図書閲覧・貸出」67.5%、「図書・雑誌を利用した調べもの」29.6%の順に多くなっている。
- 問18. 図書館の利用満足度(利用したことがある者の肯定的意見:「満足」+「どちらかといえば満足」)は全体的に高く、今回調査では滝沢キャンパスの「開館日・開館時間」86.6%を除き、他のすべての項目において肯定的意見が 90%を超えている。

○卒業後の進路、就職支援等について

- 問20. 卒業後、全体の 51.4%が居住予定地が岩手県となっている。東北 6 県では 70.1%となっている。
- 問21. 卒業後の進路については、「就職(公務員以外)」が 65.4%、「就職(公務員)」が 11.7%、「[学部卒業生]大学院への進学(本学)」が 6.1%等となっている。
- 問24. 就職先を選択する場合に重視する項目は、全体としては「仕事内容(やりがい)」62.5%、「賃金・賞与」52.8%、「労働日数・時間」「勤務地」が同率で 44.3%となっている。
- 問25. 就職先について、「第 1 希望である」「第 1 希望に近い」と回答した割合は全体の 81.3%となっている。
- 問26. 岩手県出身者で岩手県以外の都道府県に就職等を予定している者のうち、「何らかの時期で(岩手県内へ)Uターンを考えている」と回答した割合は 54.5%となっている。
- 問27. 大学の就職支援サービスを利用したことがある学生の満足度は、項目ごとに若干の差異があるが、2020 年度においては全ての項目について、「利用したことがある者」の肯定的意見(「満足」+「どちらかといえば満足」)の割合は 92.0%~95.1%の範囲であり高い満足度と言えよう。

○本学と本学の学生に関するイメージ

- 問28. 卒業年次生が感じる本学のイメージについて、項目で最も高いのは「地域社会・文化に貢献している」36.4%、次いで「学部・学科が充実している」33.2%、「就職状況が良い」29.9%、「地域産業に貢献している」29.4%となっている。
- 卒業年次生が感じる学生のイメージについて、項目で最も高いのは「個性的である」48.6%、次いで「礼儀正しい」24.3%、「コミュニケーション能力が高い」22.9%、「面白味がある」21.5%となっている。

○大学への要望等

- 自由記述では教育内容や学生支援、施設・環境などに関する要望について複数の具体的な記述があった。(別冊)